

アルプス公園未整備地の活用に関するサウンディング型市場調査の対話結果

1 実施経過

- (1) 実施要領の公表：令和5年10月24日(火)
- (2) 調査の申込：令和5年11月17日(金)～12月1日(金)
- (3) 調査の実施【2団体】：令和5年12月18日(月)

2 調査内容

アルプス公園南側開園部及び未整備地の整備計画を立てるにあたって、民間事業者から意見、提案を求め、市場性の有無やアイデアを把握するためサウンディング型市場調査を実施しました。

3 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査の結果、以下の提案・意見を把握しました。

1.実施する事業または整備する施設の内容等
<ul style="list-style-type: none">・ 展望広場は再整備し、総合案内やレンタルサービスを兼ねる飲食施設を併設する提案・ 未整備地からピクニック広場までをつなぐ遊歩道を整備する提案・ キッチンカーの出店スペースを設ける提案・ 休日など、駐車場が混雑する場合の対応に関する提案
2.事業の範囲、事業期間等
<ul style="list-style-type: none">・ 展望広場と未整備地周辺を重点的に整備・活用する提案
3.事業の実施方式や整備施設等の管理・運営方法
<ul style="list-style-type: none">・ 行政負担による施設整備を希望する意見・ 整備施設を公園全体の一部として、指定管理者制度による管理・運営を行う提案・ 飲食施設については施設単独で管理許可制度による管理・運営を行う提案・ Park-PFI 制度を活用するには、事業者負担による大規模な施設整備は難しい条件であるとする意見・ 飲食施設を整備する場合には、運営事業者の意見を取り入れた内装・設備の計画を希望する意見
4.既存施設の活用
<ul style="list-style-type: none">・ 山と自然博物館の無料化に関する提案・ 音楽広場の利活用に関する提案

次頁に続く

5.収益性(運営の持続性)
<ul style="list-style-type: none">・ 本公園の立地や公園利用者数の季節変動から、飲食施設単独での独立採算は難しいとする意見・ 飲食施設を運営する事業者の負担を軽減するための措置に関する意見(公園の開園時間や公園占用料の減免等)・ 時代に即し、社会のニーズに合った施設を整備することが重要とする意見
6.事業継続が難しくなった場合の施設活用の提案
<ul style="list-style-type: none">・ 指定管理者が自主事業の場として活用する提案・ 複数の飲食事業者が適切な時期に選択利用できる場として活用する提案

以上